

## 【主な出来事】

●サンドゥ次期大統領は、大統領就任式を12月24日に共和国宮殿で行う意向を表明。サンドゥ次期大統領は、優先課題として財政の立て直し、汚職対策を挙げ、外交面では近隣諸国との関係改善に取り組む旨表明。また、大統領選挙で示された民意を背景にキク政権の退陣、議会解散、早期議会選挙の実施を求めると主張。

●大統領選挙でのサンドゥ氏勝利に対し、近隣諸国や欧州各国から祝意が伝えられた。

## 1. 内政

### 大統領選挙後の状況

#### ▼ドドン大統領、サンドゥの勝利に「暫定的」祝意

・16日、ドドン大統領は記者会見において、大統領選挙におけるサンドゥの勝利に対して「暫定的に」祝意を表した。他方、ドドン大統領は、トランスニストリア住民の投票行為に対する妨害、EU諸国における選挙民の買収、西側リーダーによる選挙への直接的介入といった前例のない違法行為について言及しつつ、内政的に不安定な状況避けるために街中での抗議活動などに出ることはしない旨、一方で中央選挙委員会、裁判所及び憲法裁判所に対して訴える考えである旨述べた。

#### ▼サンドゥ次期大統領の記者会見

・25日、記者会見を行ったサンドゥ次期大統領は、大統領就任直後に近隣のルーマニア及びウクライナの大統領とそれぞれ公式会談を行う予定である旨述べた。サンドゥ次期大統領は、就任後2週間の間にヨハニス・ルーマニア大統領のキシニョフ訪問を実現し、ゼレンスキ・ウクライナ大統領との会談も調整すると述べた。「ポジティブな外交」が3つの短期的優先事項のうちの一つであり、その他の2つは財政政策と汚職対策であると説明した。

・ドドン大統領は等距離外交と繰り返したが、4年もの間近隣国の大統領と一度たりとも会談を行うことはなかったとサンドゥは強調した。

#### ▼サンドゥ次期大統領の記者会見

・30日、サンドゥ次期大統領は共和国宮殿において初の内外記者会見を行った。

・サンドゥ次期大統領は、大統領就任式は12月24日に共和国宮殿において開催予定なるも、新型コロナウイルス感染状況を踏まえて簡素なものとなる旨述べた。

・サンドゥ次期大統領は、現キク内閣は早期に退陣すべき旨述べると共に、早期に期限前議会選挙を行うべき点も併せて指摘した。

・トランスニストリア問題に関する記者からの質問に答えて同次期大統領は、同地域からのロシア軍の撤退、また、平和維持部隊の文民組織への改編の必要性を繰り返した。

・ロシア語に公的なステータスを与えるべきとする社会党からの提案について次期大統領は、モルドバ国民はそ

のような挑発に乗ることはない旨、さらに、同党はこのようなやり方によって国民を分断しようと企んでいる旨述べた。

### 議会

#### ▼For Moldova グループの立ち上げ

・19日、For Moldova グループは新たな議会勢力となるべく名乗りを上げた。同グループは、ショール党議員9名及びプロモルドバ党から離党した議員6名で構成されるが、当面は議会会派を立ち上げることはしない見通し。

・29日、ブラショブスキ・プロモルドバ党議員は同党から離党し、For Moldova グループに参加することを表明した。プロモルドバ党からの離党者は計7名となった。

#### ▼ボイク内相への不信任決議提出

・19日、PAS及びDAは、ボイク内務大臣に対する不信任決議案を議会に提出した。モルドバ市民のトランスニストリア当局による拘束事件に対して何ら有効な手立てを取らなかったことなどを理由として挙げた。

#### ▼社会党、ロシア語に特別ステータスを付与する法案提出

・24日、社会党は、ロシア語に特別の国内ステータスを認める法案を提出した。社会党議員によれば、公共機関に対し、市民が求めればロシア語での情報提供、書類提出を認めることを義務づけるものという。

### 新型コロナウイルスを巡る状況

#### ▼公共衛生緊急事態宣言の再発出

・27日、公共衛生特別委員会は、昨今の新型コロナウイルスの国内感染状況の悪化を踏まえ、11月30日から2021年1月15日までの間国内全土に公共衛生緊急事態宣言を発出した。

・これによってナイト・クラブ、ダンス・クラブ(ディスコ、カラオケ、クラブなど)の営業は禁止、食品店(レストラン、コーヒーショップ、カフェテリア、バーなど)の営業制限(2時から7時の営業を禁止)、対面での学術会議、スポーツ大会の開催禁止、観客を入れる形での劇場、映画館、コンサートホール、文化会館での活動禁止などの措置が新たに導入されることとなった。

#### ▼国内感染者は10.7万人

・30日現在の新型コロナウイルス感染者数は、10.7万人となった。死者は2304人。

## 2. 外政

### 大統領選挙結果に対する各国要人の反応

#### ▼ルーマニア

・16日、ヨハニス大統領は、大統領選挙におけるサンドウの勝利に対して祝辞を送った。ヨハニス大統領は、モルドバ市民は欧州及び民主主義の道を継続することを選択した旨、ルーマニアは近代化、民主化への真の努力を支持する旨伝えた。また、同日行われた電話会談では、二国間関係にとって優先事項はモルドバの欧州統合に向けた戦略的パートナーシップを深めることであることを確認しつつ、そのためにヨハニス大統領が近い将来モルドバを訪問することが話し合われた。

#### ▼ウクライナ

・16日、ゼレンスキ大統領は祝意を伝えつつ、欧州の将来のためにウクライナとモルドバの関係強化を進めることを期待しているとした。

#### ▼ロシア

・16日、プーチン大統領は、大統領選挙におけるサンドウの勝利に対し祝電を送った。

#### ▼EU

・16日、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長はサンドウの勝利を称えつつ、サンドウの勝利は汚職対策に取り組み、法の支配を取り戻すことへの明確な答えであり、豊かな将来への第一歩である旨、EUはモルドバを支援する用意がある旨伝えた。

#### ▼ドイツ

・メルケル首相は、サンドウの勝利に祝意を表しつつ、モルドバ国民は国際社会との建設的な協力と必要な改革の継続に関するマニフェストをサンドウに与えたとした。また、ドイツは引き続きモルドバを支援していくとした。

#### ▼ポーランド

・ドゥダ大統領は、サンドウの勝利に祝意を表しつつ、ポーランドは二国間及びEUにおけるハイレベルの関係強化を確信しているとした。

### その他

#### ▼チョコイ外務・欧州統合相、近隣諸国と電話会談

・26日、チョコイ外務・欧州統合相は、シーヤールト・ハンガリー外相、リンケビチュウス・リトアニア外相、リンケビッチ・ラトビア外相とそれぞれ電話会談を行い、二国間関係の問題などについて話し合った。また、27日にはアイヴァズィヤン・アルメニア外相、30日にはバイラモフ・アゼルバイジャン外相、ラウ・ポーランド外相と相次いで電話会談を行った。

#### ▼トランスニストリア駐留ロシア軍の撤退に関するサンドウ次期大統領発言へのロシアの反応

・27日、ザハロフ露外務省報道官は、サンドウ次期大統領のロシア軍撤退に関する発言はトランスニストリア問題の平和的解決に向けた努力を無にするものだとしつつ、ロシア軍は平和維持活動への参加であり、平和維持活動は政治的和平が達成された後にのみ終了となる旨述べ

た。

#### ▼キク首相、ミシュスティン露首相と電話会談

・30日、キク首相は、ミシュスティン露首相と電話会談を行い、二国間問題、近く開催予定のユーラシア経済同盟会合などについて話し合った。

## 3. 経済

### ▼1月～9月の貿易統計

・16日、国家統計局は1月～9月の貿易統計を発表。  
・輸出総額は1755.5百万ドル、昨年同期比で13.3%のマイナス。EUへの輸出は1159.1百万ドル(昨年同期比10.1%マイナス)で全体の66%を占めた。CIS諸国への輸出は275.1百万ドル(昨年同期比8.9%マイナス)で全体の15.7%を占めた。  
・輸入総額は3832.1百万ドル、昨年同期比で10.3%のマイナス。EUからの輸入は1751.5百万ドル(昨年同期比16.3%マイナス)で全体の45.7%を占めた。CISからの輸入は956.7百万ドル(昨年同期比7.3%マイナス)で全体の25%を占めた。

### ▼ウィーン国際経済研究所、2020年のモルドバ経済成長率をマイナス7%と予測

・18日、ウィーン国際経済研究所はレポートを発表し、モルドバ経済は新型コロナウイルスの影響を受けて大きく後退し、2020年の経済成長率はマイナス7%になるとの予測を示した。

### ▼1～9月の工業生産

・19日、国家統計局は、1月～9月の工業生産が昨年同期比で7.9%のマイナスであったと発表した。この主な要因として加工業生産の10.5%の落ち込みを挙げた。

### ▼2021年度予算政府原案のポイント

・23日、財務省は、2021年度予算の政府原案の主要ポイントを紹介した。レストラン・ホテル・カフェの付加価値税を15%から12%に引下げ、農産品への付加価値税を8%から12%に引上げ、干ばつ等の被害を受けた農家に対する付加価値税還付プログラムの1年延期などが含まれる。

### ▼外国からの個人送金増

・24日、国立銀行は、10月の外国からの個人送金は136.5百万ドル、対前年同期比で23.6%の増であったと発表した。

### ▼2021年度予算政府原案採択

・30日、政府は2021年度予算案の政府原案を採択した。歳入は414億レイ(前年比42億レイ増)、歳出554億レイ(前年比4.1%増)。140億レイの赤字は内外の融資などで賄う計画。予算はGDP成長率4.7%と予測し、輸出12.6%増、輸入14.3%増と予測する。

### 経済協力

#### ▼EUマクロ財政支援第1トランシェ

・25日、財務省は、EUのマクロ財政支援(総額10億ユーロ)の第1トランシェ51.6百万ユーロの入金を確認したと発表した。同融資は、本年7月21日の合意に基づき、

新型コロナウイルスの経済的影響への対策に充てられる。

#### 4. 対日関係

##### ▼ジェトロ主催のビジネス・ウェビナー開催

・25日、ジェトロ及び ODIMM の共催により、モルドバ日

本ビジネス・ウェビナー及びオンラインB2Bが開催された。セミナー冒頭にキク首相が登壇し、日本のビジネスマンに対してモルドバの投資環境を説明しつつ投資誘致を呼びかけた。

(了)